



荘内だより

荘内病院
臨床研修
通信 Vol. 3
2017. 8 発行



～Vol. 3 発行にあたって～ 臨床研修プログラム責任者 五十嵐 裕一

2年目の研修医の皆さんは、積極的に休日・夜間の ER 研修に励んでくれています。休日の第3日直枠がほとんど埋まっています。一人の医師として地域社会に貢献している実感が顔つきに出てきて頼もしくなってきました。昨年3月に卒業した5名の先生方も、第3日直を数多く担当して、研修医2人が一緒に試行錯誤しながらスキルアップをはかっていましたね。

荘内病院初期研修医とその卒業生の皆さんをつなぐ「荘内だより」は第3号になりました。これまで投稿してくれた北村先生、前田先生、飯田先生の顔写真と記事を懐かしく拝見しました。それぞれの環境で熱い思いを持って頑張っていることが伝わってきました。

今から振り返ってみて、荘内病院の2年間はとんでもない思いをしたと思っているか、離れてみると意外に恵まれていたと思っているか、少しでも後者に近いことを願っています。ひそやかに鶴岡の町を訪れている卒業生の皆さんは多いようです。恥ずかしがらずに医局や研修医室にも是非顔を出してください。

協力病院紹介

～山形県立こころの医療センター・院長 神田 秀人 先生～

山形県立こころの医療センターは、県内で唯一の公立精神科単科病院であり、精神科医療の中核病院として60年以上その役割を果たしてきました。

当院は、平成27年3月に現在の鶴岡市茅原地区に移転し、鶴岡病院からこころの医療センターに生まれ変わり、3年目となります。精神科医療に求められるニーズの多様化に対応するため、精神科・心療内科に加え、児童・思春期精神科を標榜するとともに、精神科救急専門病棟や子どもの心の病、うつ病などを専門に扱う病棟、医療観察法病棟を整備し、政策的医療の推進に力を入れています。

当院は荘内病院の協力型臨床研修病院として認知症、気分障害、統合失調症などの精神系疾患を経験するだけでなく、精神保健分野で必要となる社会復帰や地域支援体制の理解促進も配慮した研修プログラムを実施しています。

医局は若いドクターが多く、自由で明るい雰囲気、精神科医としての幅広い臨床経験が積めるうえ、精神科医療を包括的に捉える視点を自然と身につけることができます。

日本精神神経学会、日本児童青年精神医学会、日本精神科救急学会をはじめとする全国規模の各種学会、研修会への積極的な参加を奨励し、発表に際しての指導や精神保健指定医や専門医の資格取得の支援も行っています。

当院では、我々と一緒に未来の精神医療を切り開く気概のある若い精神科医を募集しています！



先輩の声

足利赤十字病院救命救急センター 吉田 直人 先生 (2010年4月～2012年3月研修)

荘内病院で研修後、母校の日本医科大学高度救命救急センター救急医学教室に入局し、現在は医局の派遣先である足利赤十字病院救命救急センターに勤務し、4月で早や4年がたちました。当院は両毛地域80万人の救急医療の最後の砦として24時間、365日、子供からお年寄りまで軽症重症を問わずどんな疾患でも断らない救急医療を実践しております。

現在も荘内病院には月に1、2回お手伝いに伺っておりますが、私の医療人としての全ての基礎は荘内病院の先生方や看護師さん、医療スタッフのお教えによって築くことができたと考えており、私のような晩学の研修医を受け入れて下さったことに深く感謝しております。これからも精進し、少しでも恩返しできたらと思います。研修医の皆さん、私を見かけましたら気軽に声を掛けてください。

研修後に身に付けたもう一つの特技は、芋煮です。今では季節を問わず、月に一度は芋煮会を開催し、こちらの研修医や看護師に振舞っております。



<前列右端が吉田医師>

今年度からの研修医を紹介します！



こんの ひろかず

金野 広和 先生

(基幹型1年次)

- ①山形大
- ②釣り、ゲーム
- ③立派な医師になれるよう
精一杯がんばります。



すずき なおき

鈴木 尚樹 先生

(協力型2年次)

- ①山形大
- ②スポーツ観戦、ビール、日本酒
- ③庄内観光がんばります！



ふじた こうたろう

藤田 耕太郎 先生

(協力型2年次)

- ①山形大
- ②音楽鑑賞
- ③4か月間という短い期間ですが、
より多くのことを学べるよう頑張り
たいと思います。

研修医氏名 (基幹型/協力型・年次)

- ①出身大学
- ②趣味・特技
- ③これからの意気込み

平成29年度 臨床研修委員 医師を紹介します！ (診療科・出身大学)

委員長 鈴木 聡 先生 (外科・新潟大)

委員 五十嵐裕一 先生 (産婦人科・新潟大) *プログラム責任者*

吉田 宏 先生 (小児科・秋田大)

内ヶ崎新也 先生 (病理科・杏林大)

岸 正人 先生 (麻酔科・山形大)

古屋 紀彦 先生 (消化器科・山形大)

菅 秀紀 先生 (内科・東京大)

坂本 薫 先生 (外科・山形大)

後藤 真一 先生 (整形外科・新潟大)

新井 啓 先生 (小児科・新潟大)

先輩の皆様のお便りをお待ちしています。また、連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

連絡先：鶴岡市立荘内病院 臨床研修委員会 臨床研修秘書 伊藤 江里子 電話0235-26-5111

